

住友の事業精神

住友の事業精神の源流をたどると、1650年ごろ、初代・住友政友が遺した5カ条からなる『文殊院旨意書』にまで遡ることになります。これは政友が晩年、家人に宛てた書状であり、商人として守らなければならない心得が書かれており、仏教の教えを基に政友の処世観が強く表れています。これが「住友精神」の原点であり、その教えは、近代家法・社則の『営業の要旨』に「確実を旨とし、浮利に趨らず」として、まとめられています。つまり、目先の利益を追わず、信用を重んじ確実を旨とする経営姿勢は、住友の事業精神の神髄として、350年以上経った現在でも住友グループの事業精神として受け継がれています。これが、住友大阪セメントグループの企業理念の基盤となっています。

営業の要旨

第一条 我が住友の営業は、信用を重んじ確実を旨とし、
以てその鞏固隆盛を期すべし

第二条 我が住友の営業は、時勢の変遷、理財の得失を計り、
弛張興廃することあるべしと雖も、
苟も浮利に趨り、軽進すべからず

(住友社則「営業の要旨」1928年制定)

解 説

第一条 住友の事業は、信用を重んじ確実を旨として、その隆盛を期すること。
第二条 時勢を見極め、経営資源を活かして積極的に事業展開すべきであるが、如何なる場合にも、浮利を求めて軽率に行動してはならない。



文殊院旨意書 (写真提供：住友史料館)

企業理念

私たちは、地球環境に配慮し、
たゆまない技術開発と多様な事業活動を通じて、
豊かな社会の維持・発展に貢献する
企業グループを目指します。

環境理念

住友大阪セメントグループは、地球環境と事業活動の調和を図り、
環境負荷の少ない生産・発電・物流の追求を通じて、
豊かな社会づくりと地球環境保全に貢献します。

行動指針

1. 信用を重んじ、健全な事業活動をおこないます。
2. 法令・規則を守り、社会良識に則って行動します。
3. お客様と社会の信頼や期待に応える製品・サービスを提供します。
4. 時代の変化に柔軟に対応し、効率的経営をおこない、企業価値の向上をはかります。
5. 人権を尊重し、安全で活力あふれる職場環境をつくります。
6. 社員一人ひとりを大切にします。

目 次

住友の事業精神	1	財務セクション	
企業理念／環境理念／行動指針	2	連結財務ハイライト	74
住友大阪セメントグループの価値創造		非財務情報ハイライト	75
価値創造の歴史	3	連結貸借対照表	77
住友大阪セメントグループの事業一覧	5	連結損益計算書	79
社長メッセージ	7	連結包括利益計算書	79
価値創造プロセス	11	連結株主資本等変動計算書	80
マテリアリティ	13	連結キャッシュ・フロー計算書	81
リスクと機会への対応	15	会社情報	
住友大阪セメントグループの成長戦略		会社概要／株式の状況	82
2023～25年度 中期経営計画	17	ネットワーク	83
企画部、管理部、各担当役員メッセージ	21	第三者検証報告書	84
住友大阪セメントグループの事業別概況	23		
研究開発・知的財産	29		
価値創造を支える基盤			
住友大阪セメントグループのサステナビリティ	31	参考にしたガイドライン	
Environment：環境	33	GRIスタンダード	
Social：社会	53	環境省「環境報告ガイドライン2018年版」	
Governance：ガバナンス	61	経済産業省「価値協創ガイダンス2.0」	
		報告書の対象範囲	

対象期間：2022年4月1日～2023年3月31日
対象会社：住友大阪セメント株式会社およびグループ会社